

ありがとうの緑

～子どもたちの身近な大切な緑～

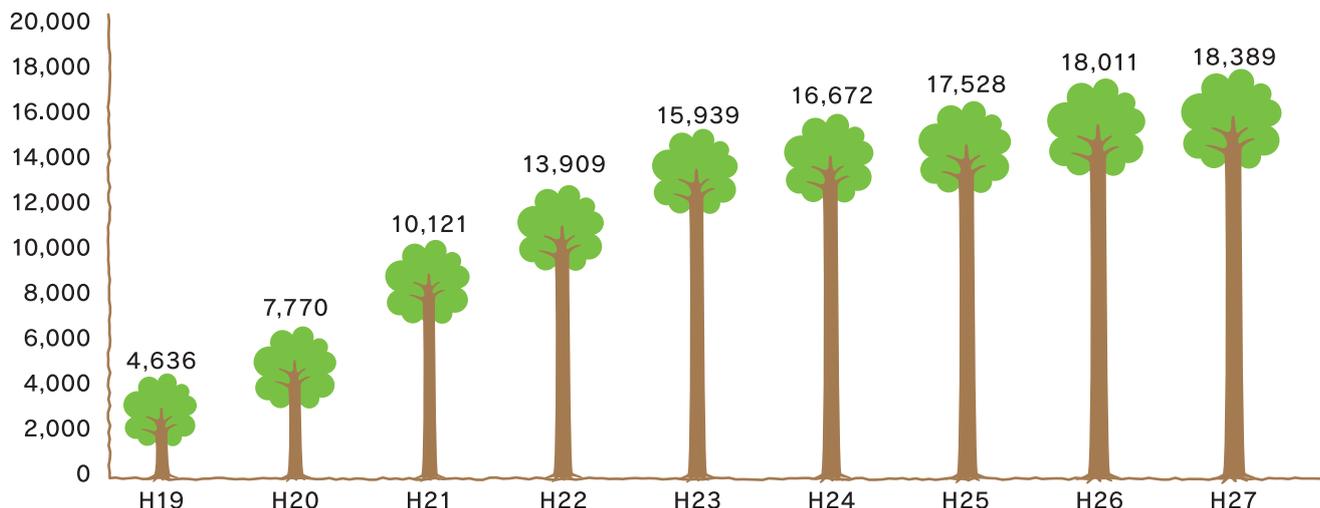
「ありがとうの緑」とは、子どもたちが「好きだな」「大切にしたいな」と思っている大切な緑の事。
子どもたちが絵や写真で教えてくれた、
まちかどの樹木や、公園、山、農地、寺社林、水辺など、
様々な「ありがとうの緑」を一緒にみてみましょう。



福岡市都市緑化推進行事実行委員会(注1)では平成19年から27年までの9年間、福岡市内の小学4年生を対象に「ありがとうの緑」を募集し、9年間で延べ18,389作品が寄せられました。実行委員会では寄せられた作品を審査し、10月の都市緑化月間に熱心な書き込みがあった児童の作品の展示を行いました。また、緑について親子で考え共有する場として「ありがとうの緑」フォーラムも開催。延べ645名の皆さんと緑について一緒に考える機会を持ちました。実行委員会ではこのような「ありがとうの緑」の取り組みを通じ、家庭や地域で一人ひとりの「ありがとうの緑」を共有することにより、これらの緑を生かす活動への市民の参加を促進していきたいと考えています。



「ありがとうの緑」応募作品累計

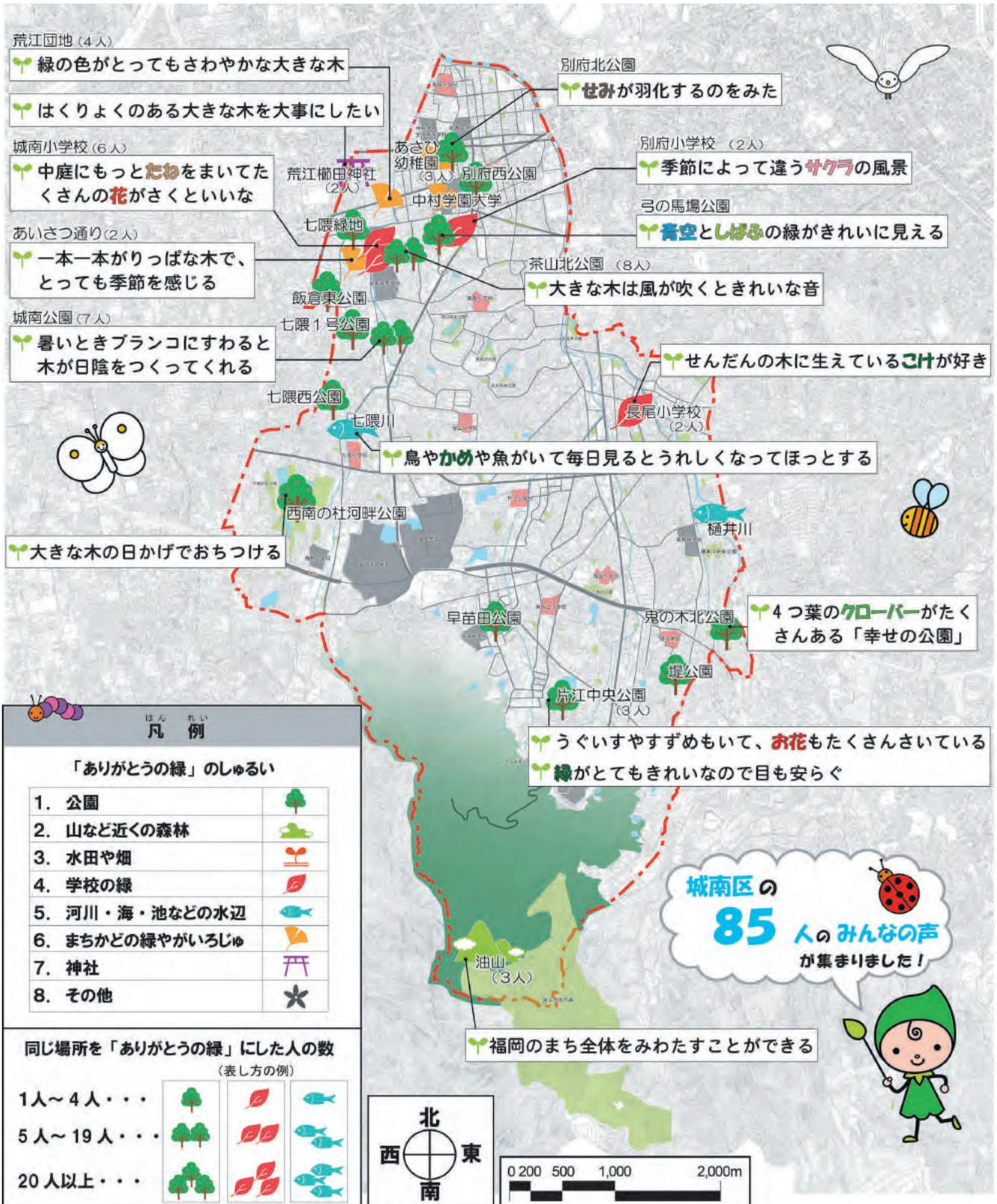


(注1) 福岡市、公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会、特定非営利活動法人グリーンシティ福岡、園芸福祉ふくおかネット、共育：フラワーアップスクール、樋井川流域治水市民会議、一般社団法人福岡市造園建設業協会、一般社団法人福岡市緑化協会、片江市民緑地グリーンメイトの会、みどりちかまる、一般社団法人福岡県樹木医会、一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会九州支部、西日本短期大学緑地環境学科、特定非営利活動法人緑のキャラバン隊、水と緑の楽校、ふくおか花と緑の連絡会

ありがとうの緑マップ

各区の集計結果をもとに、区ごとの「ありがとうの緑マップ」を作成。
子どもたちが親しんでいる緑がどこにあるのか、分布状況の把握を行いました。
その事例の一つとして、城南区の「ありがとうの緑マップ」を紹介します。

その他すべての区のマップは、福岡市緑のまちづくり協会のホームページ(<http://www.midorimachi.jp/campaign/>)よりご覧いただけます。



「ありがとうの緑」はどこにある？

西区



小戸公園

海と緑がきれいでびっくりしました。パークビューや砂浜遊びも楽しいです。



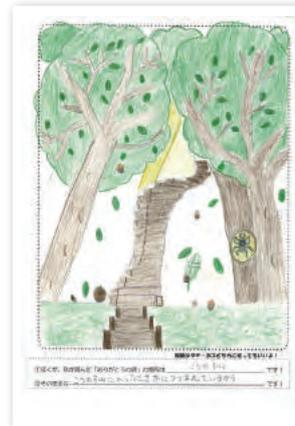
飯盛山

ご飯をもったような形の自然豊かな山です。



岩窟弁財天社

緑のカーテンで夏のひざしを防いでくれる。



鴻巣山

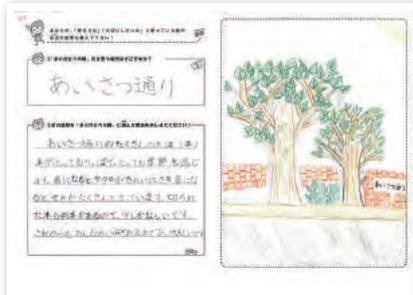
鴻巣山に入ると木につつまれているような気持ち。



護国神社

夜になるとコウモリが飛びます。

城南区



あいさつ通り

とってもしらべて季節を感じます。みんながいやされる木。



油山

映画にできそうな不思議な感じのところがあ。山頂は涼しく達成感がある。



城南小学校ツルレイシ

大きな実がなりました。

西区

早良区



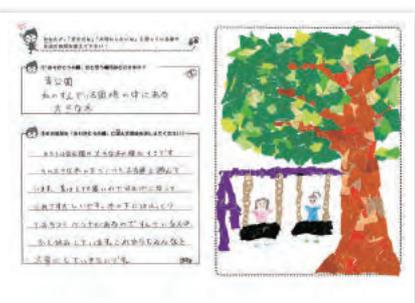
原西 田んぼ

私たちのお米をつくらせているから。



紅葉山公園

妹と落ち葉のふとんであそびました。



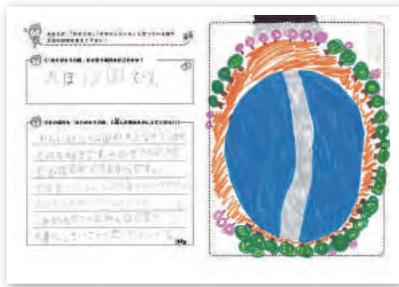
賀茂 青公園

すずしい木陰で友達とあそびます。

早良区

子ども達から寄せられた作品を通して、福岡のとおき緑を区ごとにご紹介。
 この中に行ったことのある場所は何か所ありますか？

中央区

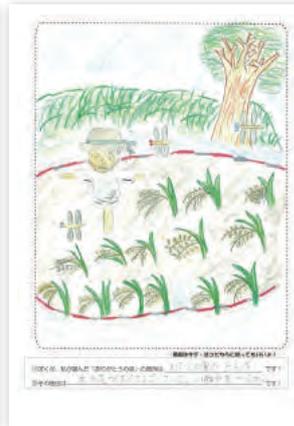


大濠公園
 サクラの木の下でお花見ができるから。夏は日陰ですずしいです。

東区



香椎 桜通り
 香椎小学校のそば。



青葉の畑
 稲が実っているから。



和白干潟
 家族で潮干狩りに行きます。地域の人も楽しめる場所なので、大切にしたい。

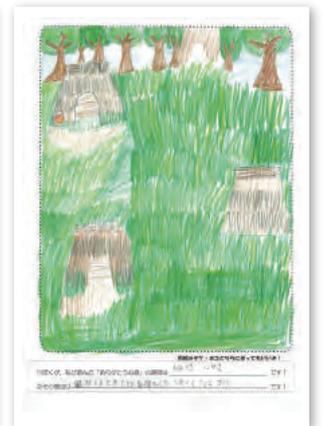
博多区



春住小学校桜の木
 桜の花びらがひらひらしずかに落ちていくのを見たら、少し心がゆたかになっていった。



美野島 川辺
 川の表面に太陽の光が白く光っています。

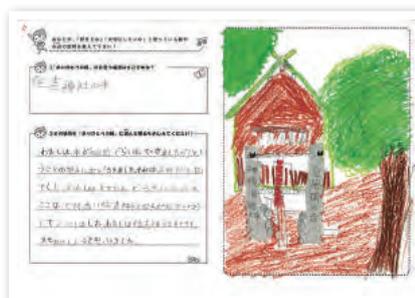


板付遺跡
 風がとてもきもちよく、うれしくなります。

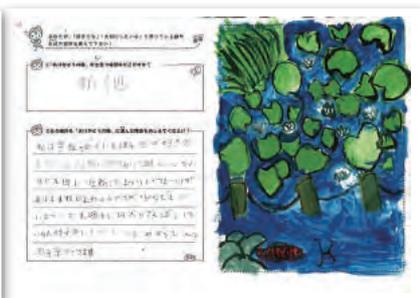
南区



油山牧場
 自然の大切さを知りふれあう場所。



日佐住吉神社
 千年以上前の木があるととても古い神社なので、大切にしようと思う。



平尾新池
 校区の新池まつりは楽しいおまつりです。

「ありがとうの緑2015」フォーラム開催

10月17日(土)、今年度の「ありがとうの緑」に参加してくれた早良区・西区の小学4年生382人のうち、88名の皆さんを招待し、福岡市美術館にて「ありがとうの緑」フォーラムを開催しました。当日は作品をエントランスに展示。子どもたちといっしょに参加したご家族の方々も、個性的な作品の数々に見入っていました。当日は、子どもたちが感じた身近な緑やとっておきの場所を、公園・水辺などテーマにわけてスクリーンで紹介。元西日本短期大学教授の岡本均先生、九州大学准教授藤田直子先生と会場に訪れた子どもたちとのディスカッションもあり、充実した時間となりました。



フォーラムに参加した子どもたちの感想

「今津野外センター」

壱岐小学校 田中もも子さん

ここは家からも近く、何度か行ったことがある場所でした。夏休みに久しぶりに友だちといっしょに遊びに行き、水遊びをしたのがとても楽しく、この時の思い出を書こうと思いこの場所に決めました。今回選ばれることができ、とてもびっくりしましたがうれしかったです。



「室見川緑地」

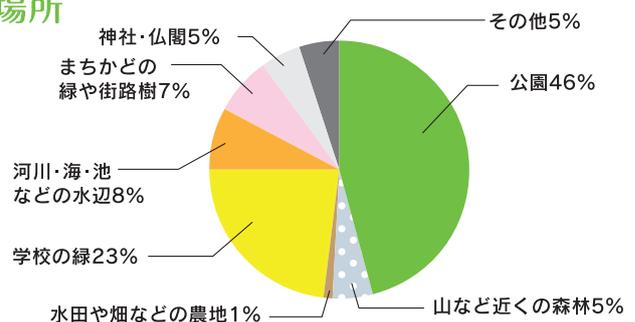
高取小学校 荒木凜太郎さん

室見川緑地は近所なので、たまに遊びに行きます。いつも人がたくさん走っていて楽しそうな場所だと思ったのが選んだ理由です。お父さんと自転車で行った時に見た潮干狩りの風景が忘れられなかったので、そのことを書きました。室見川は風の通り道だと先生に教えてもらい、新しい発見ができたのがうれしかったです。



子どもたちが「ありがとうの緑」に選んだ場所

「ありがとうの緑」の作品を場所ごとに集計すると、最も多い場所は「公園」で約半数を占めました。作品の中では近所の公園に愛称をつけ、そこで遊び、生き物を見つけ、くつろぐ様子が見られ、子どもたちにとって公園が身近な緑の空間として存在していることがわかります。2番目の「学校」では、学校のサクラや樹木、ピオトープ、緑のカーテンなどについての作品が寄せられました。3番目の「河川・海・池などの水辺」では、和白干潟、多々良川、室見川などの水辺で様々な生き物に親しみ楽しむ様子が作品に描かれていました。



※平成24年～27年の応募作品をもとに作成

「ありがとうの緑」フォーラムの先生より

元西日本短期大学教授 岡本 均先生

子どもたちの作品に書かれた文章は、「ありがとう」、「守りたい」、「大事に思う」という言葉で結ばれています。これを見たとき、「よく気づいてくれているな」とうれしかったですね。どうか大人になってこのまま自然の大切さを忘れないでほしいと思います。重要なのは、大人も自然を意識して子どもに教えてあげるといこと。子どもは桜の葉っぱが黄色く色づくことを知っていますが、大人は気づいていないんです。子どもたちに伝えていくためには、まずは大人が自然の大切さを見直していかなければいけません。昔は街路樹の落ち葉は住民が掃除をするのが普通でしたが、今は違います。皆できれいなまちをつくっていくためには、もう一度緑を市民の手に戻したいですね。また、観光客が再訪したくなるようなきれいなまちになるためには、自然がもっと重要視されるべきではないかと思っています。



九州大学准教授 藤田 直子先生

子どもたちの作品を見ていると、自分の周りにある緑について普段からよく見ているな、ということに気づかされます。そこで四季を感じたり、癒やされていたり…ということに驚きました。

また、神社の緑を選んだ子どもが何人かいたのですが、昔ながらの緑を大切に思っていてくれたことがうれしいですね。この取り組みを通し、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんとの新たな会話が生まれ、気づきのきっかけになってもらえればと思います。きっと大人が子どもから教わることもあるはずですよ。

これから福岡のまちの緑を育てていくために、まずは子どもたちが大切にしている緑を奪わないことが重要だと考えています。生活範囲の中に常に緑がある。それがとても大切です。そして、例えば子どもが木の名前を知りたいと思ったとき、興味の芽を摘まないこと。そうした理解の積み重ねが福岡の緑を育てるはずですよ。



福岡市都市緑化推進行事実行委員会 事務局より

みなさんからいただいた作品を通して、たくさんの「ありがとうの緑」を教えてもらうことができました。作品をお寄せいただいたみなさん、ご協力ありがとうございました。これからも「ありがとうの緑」を、友達や家族のみなさんにどんどんお話してください。そうすれば、みなさんが大人になる頃には、もっともっと緑いっぱい花いっぱいの福岡になると思います。



写真提供：矢野敬一さん「妖精たちの森」

緑のコーディネーターさんを紹介します!

今回は、福岡市南区での花壇づくり活動をはじめ、学生との取り組みや企業研修の受け入れなど、幅広く活躍する米倉さんを紹介します。



子どもたちに “花や植物がもつ力”を 伝えていきたい

緑のコーディネーター
米倉 治美さん



米倉さんが
デザインを担当した
天神交差点の
スポンサー花壇。

好奇心旺盛な性格で ネットワークを拡大中

編集・ライターとして地域のミニコミ誌の仕事に携わっている頃に、初級園芸福祉士の資格取得をすすめられ、園芸福祉の魅力に出会ったという米倉さん。園芸と福祉の関わりを学んでいく中で、花や植物のもつ力にどんどん魅かれていったそうです。

その後、緑のコーディネーター養成講座に参加して認定を受け、その時の仲間たちで「地域に花を咲かせよう会」を結成。周囲が驚くほどのパワフルさで精力的に活動しています。

「地域に花を咲かせよう会」の出発点となったのは、福岡市南区にある調剤店前の花壇。緑のコーディネーター養成講座の研修の場として選んだことがきっかけでした。以前はツツジだけが植えられた花壇でしたが、米

倉さんたちが花壇づくりを行ってからは、さまざまな種類の花が咲く、楽しい場所に生まれ変わりました。バス停利用者や調剤薬局のお客さんから「いつも楽しみにしてます!」と声を掛けられることも多く、その言葉に支えられ活動は5年以上経った今も続けられています。

次に取り組んだのは、同じ南区の大橋駅前。「南区の玄関口といってもいい場所なのに、花がないのがずっと気になっていた」と米倉さん。土地の所有や管理者を調べて協定を結ぶことから始め、約3年経った今では季節の花が楽しめる花壇になりました。

しかし、活動はそれだけにとどまりません。九州大学芸術工学部の学生たちと花壇づくりを行ったり、企業の社会貢献のための研修を受け入れるなど、その活動の広さには本当に

驚かされるばかり。「花の活動がどんどんネットワークを広げてくれる」と語る笑顔に、緑のコーディネーターの新たな可能性を感じました。



「地域に花を咲かせよう会」の原点となった福岡市南区の調剤店前の花壇で、メンバーといっしょに手入れを行う米倉さん。

花や植物からはじまる 社会貢献を目指して

調剤店前の花壇は、花だけでなくハーブもたくさん育っているのが特長。手触りがユニークなものや良い香りのももあり、通りかかる人に見てもらわなくても、直接触れたり香りをかいてもらったりするのも楽しみだとか。花や植物とふれあいながら、人々と交流して楽しい時間を過ごしたり。それを体感できる場所や空間を作りあげていく活動しながら花や植物がもつ力を伝えていくのが夢なのです。

現在米倉さんは、スポンサー花壇のデザイナーや植物園のガイドボランティア、ハーブコーディネーターとしても活躍中。宇美町では300坪の土地にハーブガーデンをつくり、福岡でも問題になっている子どもの貧困問題に貢献できないか考えていると語ってくださいました。「ハーブガーデンの手入れを子どもたちに手伝ってもらうことで、植物に触れ心を癒やしてもらい、そのお礼にいつしよにピザをつくって食べられた

ら…なんて考えています」と、現在ピザ窯を準備中。何かに興味をもつとすぐに勉強し、実践していくという好奇心旺盛な米倉さんらしく、活動はさらに広がっているようです。



ハート型に植えられた花々が印象的な大橋駅前の花壇。上の写真は春の様子。中央にチューリップが咲き、より一層可愛さが増す。



春になると紫色の花が咲くラムズイヤー。触るとまるで羊の耳のようなユニークな手触り。「子どもたちに触ってもらってびっくりしてほしい」と米倉さん。



仲間たちとつくっている宇美町のハーブガーデン。

緑のコーディネーターとは？

市民と行政が共働して快適で美しい緑のまちづくりを進めるため、花や緑に関する知識や技術を持つ人を福岡市が認定し、市民が自主的に取り組む緑化活動を支援する制度です。現在「緑のコーディネーター」として認定された198名が、得意分野ごとに登録され、依頼に応じて、地域や学校など、さまざまな場面で緑化活動の指導者やアドバイザーとして活躍しています。

緑のコーディネーターになるには？

「緑のコーディネーター養成講座」を修了し、認定審査に合格する必要があります。

【応募資格】

- 緑に関する一定以上の知識・技術がある方（緑に関する地域活動やボランティア経験のある方、緑関係のお仕事に勤務されている方、緑に関する資格・特技のある方など）
- 積極的に緑のまちづくり活動してみたいと思われる方

「緑のコーディネーター養成講座」の次回開講は平成29年度です。



小学校での花植えを指導してほしい。

こんなとき緑のコーディネーターをご活用ください

問い合わせ先

▶ 緑のコーディネーターの紹介・相談について
(公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課
TEL:092-822-5832 FAX:092-822-5848

▶ 緑のコーディネーター制度について
福岡市住宅都市局 みどりのまち推進部みどり推進課
TEL:092-711-4424 FAX:092-733-5590

☞ どうぞお役立てください

福岡市緑のコーディネーター登録リストは各公民館、市民センター、区役所企画課でご覧になれます。また、協会ホームページでは緑のコーディネーター検索システムを用意しています。

<http://www.midorimachi.jp>

花の活動から広がる “地域の人々が元気になる” コミュニティづくり

やよい坂花の会

福岡市南区の住宅街にある「やよい坂公園」。小さな子どもたちから年配の方まで、たくさんの近隣住民が集うこの公園で、花壇の手入れを行っているのが「やよい坂花の会」の皆さんです。

メンバーは16名。町内会長も務めているという「やよい坂花の会」の会長・古川幸男さんの「近隣住民に愛されるこの公園に花を植え、憩いの場にしよう」という呼び掛けに賛同した人々で活動がスタートしました。

現在の活動は月に1回。毎月第1月曜日の午前中に集まり、花壇の手入れや草刈り、水やりを行っています。しかし、やよい坂公園は、子どもたちが遊ぶ遊具施設もたくさんあるほか、年配の方がグランドゴルフをすることもできる比較的大きな公園。花壇の数も多く、夏場の草刈りや秋の落ち葉拾いなど、手入れはとにかく大変です。さらに、カラスや犬が花壇を荒らしていることもあり、悪戦苦闘することも少なくないのだとか。

それでも楽しく和気あいあいと、メンバー全員が笑顔で活動しているのには理由があるそうです。それは、「それぞれが自分の得意分野を担当する、という上手な役割分担で無理なく参加できているから」と教えてくださいました。



黄色のニットキャップをかぶっているのが会長の古川さん。地域を愛し、やよい坂公園を愛するメンバーが集まった。



花づくり名人・安田さんが中心となって手掛けた花壇は、どれも美しく近隣住民に好評。一つずつ丁寧に世話をしている。

「きれいですね」の声が一番の喜びに

たとえば、「やよい坂花の会」で花苗の調達から手入れ方法の指導まで、花に関するリーダー的な役割を担っているのは、自宅に500鉢以上の花々を植え、道行く人々の目を楽しませているという近所でも有名な花づくりの名人・安田さんです。そんな安田さんが中心となって花づくりを行っているほか、写真が上手なメンバーは、活動内容や花壇を記録する係、そして、計算に長けているメンバーが会計を担当し、さらに、交友関係が広いメンバーが、活動内容の近隣住民への報告などを行う広報を担っています。一人ひとりがイキイキと活動を楽しんでいるのには、こんな仕組みがあったのです。

そんな皆さんが手入れする花壇は、こまめに花殻を摘んでいるため、花付きが良いのが特長。スペースの広い公園の中で、場所や大きさによって植えている花を変えたり、一年中四季折々の花が楽しめるようになってい

やよい坂公園 Before&After

Before



After



殺風景だった公園内が色とりどりの鮮やかな空間に。どこか寂しかった雰囲気も解消され、人々がより集いやすい公園へと生まれ変わっている。

たり、と細やかな愛情が注がれているのがひと目でわかります。限られた予算でやりくりするのは大変ですが、公園を訪れた人が「きれいですね」と声を掛けてくれるのがやりがいになっているそうです。

年に2回の楽しいイベントも開催！

やよい坂花の会の活動は、実は花づくりだけではなくありません。春にはお花見、冬には餅つきという年2回のイベントも会で実施しています。メンバー内での集まりかと思いきや、告知から準備、実施までのすべてを会が担当する地域住民参加のコミュニティイベントなのだとか。取材した日はちょうど「餅つき大会」の開催日でしたが、参加者はなんと約200人。朝早くから、もち米を炊いたり、振る舞い用の豚汁をつくったりとメンバーは大忙し。それでも「こうして地域の方々と楽しくコミュニケーションできるきっかけづくりになるのがいいですね」と広報担当の藤井さん。イベントをきっかけに花の会に興味を持ってもらえるのが良いようです。ほかにも、「お月見の会」など、年に数回メンバーやその家族が集まる慰労会も行っており、皆で楽しめるのが何よりだと語っていただきました。

校区の活動やお祭りが年々減少している現在。やよい坂花の会は、人々を花で元気にするだけでなく、地域で楽しく暮らすことのできるコミュニティづくりにも一役買っています。



広報担当藤井さん手作りの案内。「もっと若い人たちにも参加してほしいので、いろいろな方法で広報活動しています」と話すように、案内にも手作りの消しゴムハンコが使われていたり楽しい工夫が加えられている。



皆で協力して
おいしいお餅に



大勢の人で賑わった餅つき大会当日。メンバーやその関係者は準備で大忙しだったものの、その努力あって大成功に終わった。



餅つきだけでなく、豚汁を振る舞ったり、参加者たちとグランドゴルフを楽しんだりと充実の一日に。



緑の活動支援事業

市民の皆さんで結成された団体が自主的に取り組む緑化活動を育成・支援する事業です。緑の普及啓発、地域の環境改善、地域コミュニティづくりなどを目的としています。

● 地域の花づくり ●

市内にある公共用地や空地などにおいて花壇づくりを行う活動で、花壇などの面積が10㎡以上のもの。

助成金

認定後5年間／年間1㎡あたり2,000円
上限20万円

認定後6年目以降／年間1㎡あたり1,000円
上限10万円

● 地域の森づくり ●

市内にある樹林地などの保全管理を行う活動で、活動区域の面積が300㎡以上のもの。

助成金

認定後5年間 上限20万円

認定後6年目以降 上限10万円

問い合わせ

(公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 TEL 092-822-5832

FUKUOKA SANPO-MICHI

福岡 さんぽ道

通りに咲く花、新しいお店…。
散歩でいろいろ発見してみよう！

「福博花しるべ チューリップロード」



福岡市役所
みどり推進課
山本 佑介さん

福岡市では今年も春のまち歩きを楽しむイベント「福博花しるべ」を開催！博多駅と天神、舞鶴公園を結ぶ約4kmのルート上を、地域の小学生、ボランティア、企業など100を超える団体の皆さまが植えたチューリップが彩ります。

寄り道情報1

舞鶴公園

舞鶴公園

福岡城さくらまつり

3月25日(金)～4月3日(日)

福岡城の歴史を彩る1,000本の桜と城壁のライトアップは圧巻。イベントや屋台も楽しめます。



・福岡城・鴻臚館スタンプラリー ・さくらボランティアガイド
・さくらグルメ屋台 ・さくらふれあい動物園
・桜園(天守台)、多間橋、御鷹屋敷跡特別ライトアップ(入場料 各300円)
※桜の開花状況、その他の状況により期間を変更する場合があります。
※インフォメーション開設時間12～22時、

ライトアップ点灯時間18～22時
※今回から天守台周辺の桜園まで有料エリアを拡大します。18時までにはこれまで通り無料でお楽しみいただけますが、18時以降は有料になりますのでご了承くださいませようお願いします。

<http://saku-hana.jp/>

福博花しるべマーケット (鴻臚館芝生広場)

3/26(土)、3/27(日)、4/2(土)、4/3(日)9:00～16:00

美しい桜が咲き誇る福岡城さくらまつりの会場で花や緑に関するマーケットを開催します。



<http://hana-shirube.jp/>

天神交差点



市役所正面玄関



博多駅前広場



寄り道情報2

警固公園

福博花しるべ ガーデニングショー

4/2(土)～4/10(日)
10:00～17:00

市民や学生、企業の協力による花壇展示のほか、緑の体験講座や花や緑のマーケット、カフェなど楽しめるイベントが盛りだくさんです。



寄り道情報3

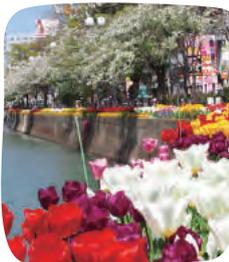
清流公園 福博花しるべ フラワーフェスティバル

ライトアップ:3/25(金)～4/2(土)
18:00～22:00

千夜夜市:
3/25(金)、3/26(土)、4/1(金)、
4/2(土) 16:00～22:00

キャナルパーク:
3/26(土)、4/2(土)
16:00～20:00

那珂川沿いのチューリップを華やかにライトアップ。週末には千夜夜市やキャナルパークがオープンし、飲食やアトラクション等を楽しめます。



博多駅前通り



キャナルシティ博多周辺



※写真はイメージです。

イベントは天候などにより変更や中止になる場合があります。確認の上、おでかけください。

4月



「夕刻に散る」高鷹 るみ子さん(舞鶴公園)

3月25日(金)～4月3日(日)

福岡城さくらまつり 舞鶴公園

3月下旬～4月中旬 福博花しるべ 博多駅～天神

2日(土)～10日(日)

福博花しるべガーデニングショー 警固公園

3月26日(土)～5月8日(日)

フラワーピクニック2016 海の中道海浜公園

18日(月)～24日(日)

福岡城藤棚休憩所 舞鶴公園

5月



「初夏」福原 良一さん(舞鶴公園)

4日(水・祝) みどりの日無料開園 福岡市動植物園

5日(木・祝) こどもの日プレゼント 福岡市動植物園
(数に限りがあります)

15日(日) ラブアース・クリーンアップ2016

志賀島ほか、海岸、河川、公園など

6月



「浮葉の白露」小島 博さん(舞鶴公園お濠)

1日(水)～30日(木) 筥崎宮あじさい苑 筥崎宮
開花に合わせて開催 恵光院菩提樹まつり 恵光院

11日(土)・12日(日)

香椎宮扇としょうぶ祭り 香椎宮

7月



「池に映える」高鷹 春一さん(舞鶴公園)

12日(火)～8月28日(日)

こどもスケッチ大会作品展 福岡市植物園

17日(日)・18日(月・祝)

愛宕神社ほおずき夏祭り 愛宕神社

8月



「ラグビーボールのような…」梅本 弘さん(海の中道海浜公園)

1日(月) 西日本大濠花火大会 大濠公園・舞鶴公園

上旬 オオオニバス試乗会 福岡市植物園

※オオオニバスの生育状況により開催時期を変更することがあります。

毎週土曜日 夜の動植物園 福岡市動植物園

9月



「パンバスクラスの輪」深川 嗣夫さん(海の中道海浜公園)

下旬 室見川灯明まつり 室見川



花と緑のまちかど写真コンテスト 受賞作品発表



本コンテストは、花と緑に関する写真の募集や展示を通じて、都市緑化の普及啓発を図ることを目的に、平成12年から毎年開催しているものです。

今回は、296点の応募があり、厳正な審査の結果、以下の受賞作品が決定しました。

花と緑のまちかど写真コンテスト受賞作品一覧

審査日:平成27年9月7日 募集期間:平成27年4月1日～8月31日

賞名	画題	受賞者氏名	撮影場所
推薦	古木の誇り	矢野 敬一	舞鶴公園
まちかど部門	特選	秋たけなわ	濱咲 誠
	入選	都会のオアシス	伊藤 敏
		浮葉の白露	小島 博
	佳作	都会で色あざやかに	河口 久美
		閑寂	塚野 克彦
都会に実る		丸山 徳子	
しぜん部門	特選	梅園の住人	関東 博子
	入選	承天寺 秋真つ盛り	斉藤 進
		霧中のさくら	本田 優子
	佳作	ラグビーボールのような…	梅本 弘
		散り敷く桜花	松本 洋子
飛翔		渡邊 ちひろ	
イベント部門	特選	春のロンド	塚野 美津子
	入選	花を奏でる	西畑 修
		藤日和	橋本 禎寛
さくら部門	特選	夕刻に散る	高鷹 るみ子
	入選	妖艶な夜	伊藤 喜亮
		城跡を偲んで	今津 盛一
	佳作	花影の道	河村 稔
		観桜	久保田 良美
花散らしの雨		藤井 利成	
カレンダー賞	1月賞	早春	葛城 昌次郎
	2月賞	梅満開	深町 安弘
	3月賞	春が来た	濱咲 誠
	4月賞	夕刻に散る	高鷹 るみ子
	5月賞	初夏	福原 良一
	6月賞	浮葉の白露	小島 博
	7月賞	池に映える	高鷹 春一
	8月賞	ラグビーボールのような…	梅本 弘
	9月賞	バンパスグラスの輪	深川 嗣夫
	10月賞	秋たけなわ	濱咲 誠
	11月賞	閑寂	塚野 克彦
	12月賞	師走のHAKATA・CITY	斉藤 進

※敬称略(入賞作品はホームページでご覧いただけます)

(五十音順)



推薦

「古木の誇り」矢野 敬一さん



イベント部門
特選

「春のロンド」塚野 美津子さん



まちかど部門
特選

「秋たけなわ」濱咲 誠さん



しぜん部門
特選

「梅園の住人」
関東 博子さん



さくら部門
特選

「夕刻に散る」高鷹 るみ子さん

第17回花と緑のまちかど写真コンテスト募集

平成27年9月1日から平成28年8月31日までの1年間に福岡市内の花と緑を題材とした未発表の写真が対象です。

応募期間 平成28年4月1日から8月31日まで

応募方法 応募票に記入し、作品の裏面に貼付の上、郵送または持参してください。お一人3点まで応募できます。
(応募票は協会ホームページからダウンロードできます。また、区役所、市民センターなどにも置いてあります)

応募上の注意

[サイズ] 四つ切り、ワイド四つ切り、A4

[著作権] 入賞作品の著作権は主催者に帰属します。賞に選ばれた場合は、原板やデータを提出してください。

[肖像権] 人物が写っている場合、撮影の同意を得てください。肖像権等の承諾は応募者の責任とします。

画像加工したものは応募できません。

応募・問合せ先

〒814-0001 福岡市早良区百道浜2丁目3番26号
公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 企画推進係
TEL 092-822-5832 ホームページ <http://www.midorimachi.jp>



花と緑につつまれたまちづくりを支える 福岡市都市緑化基金

福岡市都市緑化基金は、(公財)福岡市緑のまちづくり協会が運営母体となり、市民の皆さまや民間企業からいただいた寄付金を積み立て、その運用利息等を利用して、都市の緑化を進めるための基金です。

基金のしくみ



※福岡市都市緑化基金の運用から生ずる収益金及び目標額を超える寄付金等

基金で取り組む事業

基金の運用利息等を財源として民有地の緑化を推進するために、次の事業に取り組んでいます。

緑化助成事業 (民有地緑化の助成)	緑の活動支援事業 (緑化活動団体の支援)	都市緑化の 普及啓発
<ul style="list-style-type: none"> ・屋上緑化 ・駐車場緑化 ・壁面緑化 ・生垣の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の森づくり助成 ・地域の花づくり助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・花と緑のまちづくり賞 ・花と緑のまちかど写真コンテスト ・グリッピキャンペーン ・広報物発行等

詳しくは協会ホームページをご覧ください。

寄付・募金のお願い

基金の募金箱は福岡市植物園、福岡市情報プラザ(福岡市役所1F)などに設置しています。福岡市都市緑化基金に募金いただければ、グリッピグッズをプレゼントします。皆さまのご協力をお願いします。

寄付金の税控除について [福岡市都市緑化基金]に対する寄付には、所得税、福岡市の個人住民税で、寄付をした翌年度の寄付金税額控除の適用が受けられます。(手続きなど、詳しくは、お気軽にご相談ください)

募金についてのお申し込み・ご相談は (公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 企画推進係
TEL:092-822-5832

寄付をありがとうございました

【寄付された会社・団体】 オクトーバーフェスト実行委員会 様 兼松エレクトロニクス株式会社 様 コカ・コーラウエスト株式会社 様 (平成27年2月～平成28年1月末現在、五十音順、個人を除く)	社会福祉法人月隈保育園 様 株式会社 福岡植木 様 ふくおか花と緑の連絡会 様 株式会社 福岡放送 様
---	--

スポンサー花壇にご協賛いただいた企業の皆様

宗教学法人警固神社 様 西日本鉄道株式会社 様 日本たばこ産業株式会社福岡支社 様 株式会社パルコ福岡店 様 (平成26年12月～平成28年1月末現在、五十音順)	株式会社福岡銀行 様 福岡県行政書士会福岡中央支部 様 株式会社福岡リアルティ 様 三笠特殊工業株式会社 様
---	---

※スポンサー花壇事業とは、企業の皆様からいただいた協賛金で、都心部におもてなしの花壇を設置する福岡市の取り組みです。

公益財団法人 **福岡市緑のまちづくり協会**
Fukuoka City Greenery Association



協会のホームページ
<http://www.midorimachi.jp>

☐総務課 TEL 092-822-5831
☐みどり課
☐企画推進係 TEL 092-822-5832
☐街路樹係 TEL 092-822-5845

〒814-0001
福岡市早良区百道浜二丁目3番26号(福岡タワーセンタービル2F)
FAX 092-822-5848

☐公園管理事務所 〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園二丁目1番2号
☐博多の森陸上競技場 TEL 092-611-1515 FAX 092-611-8988
☐博多の森テニス競技場 TEL 092-611-1544 FAX 092-624-6161
☐レベルファイブスタジアム TEL 092-612-7070 FAX 092-612-6996

☐舞鶴公園管理事務所 〒810-0043 福岡市中央区城内1-4
TEL 092-781-2153 FAX 092-715-7590

「まちとみどり」は福岡市都市緑化基金の運用利息等により発行しています。

